

## 『第1回いばらきの地震・風水害に「備える」を考える日 inつくば』を茨城県・つくば市・茨城代協等と開催！

日本損害保険協会関東支部茨城損保会(会長:上西 大介 東京海上日動火災保険株式会社 茨城支店長)では、「茨城県地震等災害保険・共済加入促進協議会」で地震リスクの正しい理解や、いつ発生してもおかしくない地震等の災害に対する必要な備えをしてもらうための普及啓発活動に取り組んでおりますが、今般、茨城県、つくば市、茨城県損害保険代理業協会と連携し、11月30日(土)つくば国際会議場において、『第1回いばらきの地震・風水害に「備える」を考える日 inつくば』を開催しました。当日は一般の方を中心に、140名が参加しました。

### 『第1回いばらきの地震・風水害に「備える」を考える日 inつくば』

日 時: 2024年11月30日(土)14時~15時45分  
場 所: つくば国際会議場 中ホール200  
主 催: 日本損害保険協会関東支部茨城損保会、茨城県損害保険代理業協会  
共 催: 茨城県地震等災害保険・共済加入促進協議会  
後 援: つくば市

### <プログラム>

開会挨拶: 上西 大介 (日本損害保険協会関東支部茨城損保会会長)  
自治体講座: 石塚 晃彦 氏 (茨城県防災・危機管理課 副参事)  
「茨城県の災害対応体制と地域防災力向上に向けた取組み」  
自治体講座: 岸田 和克子 氏 (つくば市 危機管理課 課長)  
「今日からはじめよう!家庭でできる防災への備え」  
講 座: 檜山 沙耶 氏 (いばらき大使兼防災士)  
「さやっち先生の『学ぶ。備える。いばらきの地震・風水害』講座」  
サイエンスショー: Dr. ナダレンジャー 氏  
「本当は怖い災害をミニチュアで再現するサイエンスショー ~茨城 ver. ~」  
防災クイズ: 「楽しく防災を学ぼう!」  
閉会挨拶: 仁平 光男 氏 (茨城県損害保険代理業協会会長)

開催に先立ち、主催者を代表して、上西茨城損保会長から「本日のイベントを通して、多くの方に県内の地震などの自然災害のリスクを認識いただくとともに、子供から大人まで年齢を問わず楽しみながら茨城県の防災について学んでいただきたい。」と挨拶がありました。

自治体講座では、茨城県防災・危機管理課の石塚副参事から、過去に県内を襲った主な災害と被害状況、県の防災・危機管理体制、万が一に備えるための防災事業についての講座があり、「県民一人ひとりの『自分の身は自分で守る』意識の向上が重要。市町村とも連携し、自助・共助に関する啓発を目指していきたい。」との説明がありました。次に、つくば市 危機管理課の岸田課長から、すぐに始めることができる家庭での具体的な対策(家具などの転倒防止対策、食料・水・日用品の備蓄等)についての講座があり「防災・減災の要は『自助』『共助』。自身と家族のために、今日から備えを始めましょう。」とのお話がありました。

檜山沙耶氏による地震・風水害講座では、茨城県地震等災害保険・共済加入促進協議会作成のリーフレット「学ぶ・備える いばらきの地震・風水害」等を参照しながら、茨城県で30年以内に大規模地震（マグニチュード7.0～7.5程度）が発生する確率は約80%であることなどの県内のリスクの説明や、今後想定される3つの地震リスク、過去に県内で発生した風水害の被害状況を学びました。また、「自然災害自体を避けることは難しいが、平時のうちに準備をしておく事で、被害をできるだけ小さく抑える事ができる。」として、「避難についての確認」「家の中の安全対策」さらに、経済的な備えとなる「地震保険・火災保険・共済への加入」など、自助についての説明あり、地震保険は、政府と損害保険会社が共同で運営する公共性の高い保険で、被災後の当面の生活を支える経済的な備えとなる旨の説明がありました。

Dr. ナダレンジャーによるサイエンスショーでは、2012年につくば市が竜巻被害を受けたことから、ミニチュア突風マシンでの再現や、揺れの速さによる高層・中層・低層ビルの揺れ方の実験など、子供から大人まで楽しみながら、自然災害について学びました。

最後に、茨城県損害保険代理業協会の仁平会長から「今回のセミナーで得た知識や気づきを、家庭・職場・地域で共有していただき、防災・減災の取組みを広げ、より安心・安全な社会を作っていきたい。」との挨拶があり、盛況のうちに幕を閉じました。

アンケートでは、9割以上の聴講者から「わかりやすかった」「地震・風水害の備えとして役に立った」との回答があり、「子ども大人も楽しめる素晴らしいイベントでした！」「防災意識向上の一つとして保険の説明はよいと思った。」「いつ発生するかわからない巨大地震や災害状況を知ることができ、思った以上に役立つイベントだった。」などの感想が寄せられました。また、家庭でできる防災対策についても、「すぐにも対策を講じようと思う」（52%）や「今後何か対策を考える必要がある」（46%）との回答があり、今回のイベントが防災に関する意識の変化や行動変容に結び付いたことが認識できました。

当支部では、引き続き、茨城県民の防災・減災に係る意識向上に向けて取り組んでまいります。



開会挨拶(上西茨城損保会長)



自治体講座(茨城県防災・危機管理課 石塚副参事)



自治体講座(つくば市 危機管理課 岸田課長)



檜山沙耶氏による地震・風水害講座



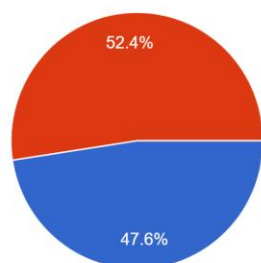
Dr. ナダレンジャーによるサイエンスショー



閉会挨拶(茨城県損害保険代理業協会 仁平会長)

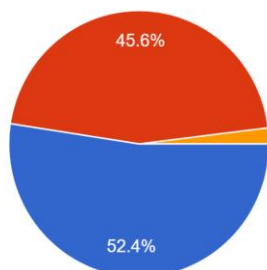
### 【アンケート抜粋】

自分が住んでいる地域の危険性を知ることについて  
103 件の回答



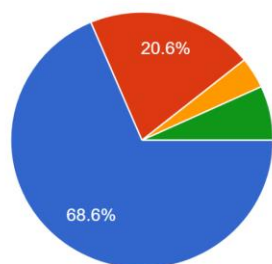
- 地域の危険性はこれまでも知っている
- これまで知らなかったが、知っておく必要があると感じた
- あまり必要性を感じていない

家庭で出来る防災対策について (例: 住宅の耐震化、家具の固定、避難所の確認、備蓄品の準備等)  
103 件の回答



- すぐにも何か対策を講じようと思う
- 今後何か対策を考える必要があると感じた
- 特に対策の必要は感じなかった

自助としての地震保険・共済の加入の有無や必要性について (複数回答可)  
102 件の回答



- すでに地震保険・共済に加入している
- 地震保険・共済に未加入であるが、加入しなければならないと感じた
- 地震保険・共済の加入は必要ないと思った
- 地震保険・共済に加入しているかわからない